

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 亀井 壽一  
編集 調査研究部

## 現職とOBの連携について



副会長  
清水 昇



野忽那島のうろこ雲

天高く馬肥ゆる秋となりました。今年の夏はことのほか猛暑で、運動会の実施時期の変更について検討を始めた学校もあるように聞いておりますが、現職の先生方、運動会はいかがだったでしょうか。無事終わられ、一息つかれたころでしょうか。OBの先生方は、間近に迫っている秋祭りの役や準備等でお忙しいことと思います。

私は今年、小学校校長会とのつながりで松山市教育会と直接かかわりをもたせていただくようになりました。理事会や支部長会に参加させていただくと、お世話になった先輩方の元気な顔を拝見することができ、とても懐かしい気持ちになりました。また、同じ学校に勤務したり一緒に仕事をした方もたくさんおられ、多くのことを学ばせていただいたことも昨日のように思い出されます。

さて、松山市教育会情報第71号で亀井壽一会長が「・・・現職会員の先生方の中にも、市教育会がどんな組織でどんな活動をしているのか、自分が会員であることも知らない方がおられると聞きます。」と書いておられます。この内容については、現職会員の一人である私も同感であります。

現職の意識は、教育会はOBの会で、校長・教頭が参加する組織だろうと思っている先生方も多いのかもしれませんが、自分が会員であることを知らなければ、どんな組織でどんな活動をしているかなど、興味も湧いてこないのではないのでしょうか。

現職とOBとの連携を緊密にするための取組で、現職の先生方の関心が高かった事業の一つは、平成20年度からスタートした教育講座ではないかと思えます。特に若い教職員は、確かな理論と豊かな教育実践をもつ先輩の話聞くことで得たものは多く、自分は教育会の会員の一人であるとの認識をもつことができたのではないのでしょうか。この他に「人材バンク」事業も行っていますが、参観日や行事等での学校訪問や、普段の授業や長期休業中の補習等の学校ボランティアなどで、ブロックや校区の学校との結びつきを深めていけば、さらに連携が図れるのではないのでしょうか。このように現職とOBが相互に、子どもたちの教育を通して交流できる事業を実施することで現職会員の意識も高まり、教育会は松山市の教育の向上発展のために大きな力になるものと信じています。現職とOBの連携をさらに進めるために、私も微力ながら、できる範囲で現職会員への啓発等お手伝いをさせていただきたいと考えています。

11月6日(土)には、えひめ教育の日記念事業「まつやま教育フォーラム22」がエスポワール文教会館で開催されます。会員の皆様の多くの参加を期待しております。(宮前小学校)

※「坂の上の雲」にちなんで、雲の写真を募集しています。事務局へお寄せください。

# 平成21年度 教育功労者

## 松山市教育会



宮内 久司

### 栄えある賞をいただいて

この度は栄えある教育功労者賞をいただきまして、恐縮し、そして感謝しております。

小学校教員として40年間歩み続けられたのは、子どもたちや先生方、保護者や地域の方々、さらには行政の方々に支えていただいたお陰です。特に退職時の3年間、生まれ育った母校に勤務させてもらったことは本当に幸せでした。退職後も非力非才の私ごときにあれこれと役を与えていただき、70歳を過ぎた年まで地域の皆様と一緒に歩んでくることができました。町営の幼稚園勤務、地区社会福祉協議会、公民館活動、学校林植栽など、どれもやりがいのある楽しいものばかりでした。しかし数年前から徐々に力量のある後輩たちが引き継いでくれることになり、安心しております。今後は、地域の子どもたちへのボランティア活動に微力を尽くしたいと思っております。

終わりにになりましたが、今回ご推薦いただいた支部長さんをはじめ、関係各位に深く感謝いたしましてお礼といたします。



森田 章夫

### 地域でのふれあい

この度、思いがけなくも教育功労者表彰を賜り、只々有り難くて恐縮いたしております。ここに関係者並びに今日までお世話くださいました会員の皆様方に深く感謝申し上げます。

受賞については、退職前に脳の手術を受けてより14年、その間自分のことがやっとの時期もあり、多大のご迷惑をおかけしたことを思うと、心苦しいものでした。しかし、当日、総会という晴れ晴れしい場で、立派な方々と共に受けられたことは誠に光栄で、さらに、この縁で学校づくりに勤しんだ懐かしい仲間との再会が叶うなど、ご厚意に甘えて本当によかったと思っております。

退職後の生活に潤いを頂いた中に、幼い子どもたちや地域の方々との俳句を通してのふれあいがあります。「坂の上の雲」で一躍脚光を浴びている松山にあって、今こそより多くの人に、偉大な子規と俳句への関心をより一層深めていただかなければと痛感しております。

教育会には現職中より続いてご指導を頂いております。今後ともよろしく願いいたします。



仲田 吟子

### 食育ひとすじ

今年度、健康教育・食育の発展に寄与したことにより、思いもよらず教育功労者として表彰をしていただきまして大変光栄に思っております。これもひとえに皆様のお陰と感謝いたしております。

さて、在職期間中を振り返ると、中央教育審議会専門委員や(社)全国学校栄養士協議会の理事など、なかなかできない経験をさせていただきました。特に、学校における食育の推進を図るための方策について、県内だけでなく全国で勉強させていただいたことは、自分自身の食育をさらに高めることができ、何よりの財産となりました。

これらを心おきなくできたのは、校長先生をはじめとする同僚、調理員さんの支えがあったからです。これからは、地域、社会の一員として陰で支える側に回りたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

# 松山市教育会 松山市教育研究協議会 合同 教育研修会

—平成22年8月23日 エスポワール愛媛文教会館にて—



8月23日に本年度1回教育研修会が松山市教育研究協議会と共催で開かれた。講師として松山市民病院脳神経外科部長の角南典生（すなみ・のりお）先生をお招きして、「認知症にならないコツ 脳卒中で倒れないコツ」と題してご講演いただいた。

角南先生は、平成15年に松山脳卒中对策協議会委員となり、それ以降、脳卒中の予防を中心に県内外各地での講演会を通して啓発活動にご尽力されている。公民館でのご講演は今年に入っただけで30回を超えているとのことであった。また、毎週日曜日午後3時から、ラジオ番組の中で15分間のコーナーを担当され、脳の科学・医学についてのお話をされているそうである。このように忙しい日々を送られている先生だが、講演活動やラジオ番組出演は楽しいとおっしゃ

れていたのが大変印象的であった。

ご講演の主な内容は、大きく分けて「認知症予防」「脳卒中予防」「ストレス解消」の三つであった。以下、お話の中にあつた予防法について簡単に紹介しておく。

## 【アルツハイマー予防十カ条】

- 1 毎日、大きな声で新聞の見出しを読む。
- 2 毎日、誰かと会話を楽しむ。
- 3 毎日、日記を書く。しばしば手紙を書く。
- 4 料理をする。後片付けを手伝う。掃除をする。
- 5 ストレスを解消する。嫌なことは忘れる。
- 6 食べ物に気を付ける。腹八分。
- 7 水分をしっかりとる。
- 8 散歩する。適度な運動をする。
- 9 ながら族になる。ラジオを聴きながら家事をする、掃除をしながら歌を口ずさむ、など。
- 10 (夫・妻・子・孫・ペットなどを)ハグする。「抱きしめる」といい脳ホルモン・脳波が出る。

## 【脳卒中予防十カ条】

- 1 高血圧を治す。家庭で血圧を測ることが大事。
- 2 糖尿病予防。糖尿病を放っておかない。
- 3 不整脈が見つかったら、すぐに受診する。
- 4 たばこをやめる。脳の血管にとてもよくない。
- 5 アルコールを飲み過ぎない。控え目は薬、過ぎれば毒。
- 6 コレステロールに気を付ける。悪玉と善玉のバランス。
- 7 腹式呼吸がよい。
- 8 塩分・脂肪の取り過ぎに気を付ける。食材よりも調理法に気を付ける。
- 9 適度な運動をする。とり過ぎに気を付ける。
- 10 脳卒中が起きたら、すぐに病院へ。

認知症や脳卒中という、自分自身や家族にとって現実的な内容であったということだけでなく、日常生活の中でよくありがちな様子やご自身のエピソードを交えたユーモアたっぷりのお話、実際の現場の映像などがあり、大変分かりやすく、聴いている会員を飽きさせないものであった。メモをしっかりとる会員の姿も多く見られ、たくさんの笑い声やなるほどという声の中、約90分があつという間に過ぎていった。講演後には、用意されていた先生の書かれた本がほとんど売れてしまうという状態であった。参加した会員にとって大変有意義な時間となったことの表れであろう。



# 第3回 教育講座① (学級経営)

一昨年度からスタートした教育講座ですが、大好評を得て、本年度で3回目を迎えました。石丸淳先生は、昨年度の教育講座でも、「叱る・褒めるを考える」と題して生徒指導実技研修の講師も務めてくださいました。大変好評で、もっとお話を聞きたいとの感想が多く、本年度は学級経営の講座が実現しました。8月9日(月)、約90名の現職会員が文教会館に集いました。

## 石丸淳先生の紹介

大学卒業後、県下の中学校に勤務する。途中、県総合教育センターに5年間勤務した後、再び中学校現場で勤務。その後小学校長を経て、松山市教育事務所指導課長、続いて県総合教育センター教科教育部長として勤務し、退職する。

主な著書に、「あれる教室をつくらない実践的学級経営」、「教育現場で考える『教育する心10の視座』—あなた、覚悟はできていますか—」などがある。



## 「学級経営力を支える条件は」

### 1 学級経営の基本的な姿勢

まず、雨の日の水やりについて、実際に見聞きした3例を挙げ、学級経営の基本的な姿勢について話された。その3例とは…

- ① 「自ら判断する」という研究主題を掲げた小学校の研究発表会の日、校門を入ると、雨なのに子どもが花に水やりを。参加者は、成果が見えたような気がする、もう帰ろうかと話していた。
- ② ある小学校で、問題行動が目立つ子がひまわりに水やりをしていた。学級担任が、「ひまわりはどう言った？」と聞いたら、「もう水はいらんと言うた。」と答えた。先生は、「ひまわりと話ができてよかったね。」と言葉をかけていた。
- ③ 養護学校で水やりをしている子がいた。学級担任が、「雨がふっているから、水やりはしなくていいのでは。」と話すと、その子は、「雨とほくの水とは違う。」と答えていた。

①は、子どもを外側でしか見ていない。子どもに問いかけることが大切。子どもの内側にある思いや願いに手を届かせていかないと、何事も始まらない。子どもと交流している学級担任だけが入れる世界がある。それが学級経営。

そのお言葉に、講座の最初から心に沁み入るものがあった。

### 2 学級経営の基本視点 (キーワードを中心に、お話の大体をまとめてみた)

☆あれ！？おや！？

そう感じたとき、そこに大事なものがある。理想と現実の間のずれが問題意識となる。

☆学級は生き物

一日一日変わっていく。日々の学級生活の中にすべてのものがある。長所も短所も解決の方策も。1学期を終えて、あなたのクラスはどんな状態か。2学期に向けての手立てが見えているか。

☆学級目標は鮮度・魅力が大切

そして、○具体的・日常的、○語り続ける、○子どもの保護者のもの、○意識改革のキーポイント、となるようなものを。

### ☆学級経営には柱が必要

何を柱にするか。○だれ一人放っておかない、○子どもが主役だけど放任にしない、○見届ける、○親は味方にする、○先手必勝で臨む、というような柱を。

### ☆戦略と戦術を

長期的な視点が戦略、なぜ必要かというようなこと。短期的な視点が戦術、どんなふうにするかというようなこと。両面を見つめることが必要。

## 3 学級経営の具体的な方策

### ☆やはり学習づくりが一番

根本は聞く態度、聞く力づくり。笑われる恐怖のない、間違いの価値が分かる、それでいて点もとれる子に。

### ☆集団づくりが学級経営の命

集団指導は厳しく、個人指導は幅をもって。集団規範はグループダイナミックにある。物事には二面がある、なぜそれをするのか、どうそれをするのか。

### ☆集団づくりは人間づくり

小事（しょうじ）が大事。○早さが大事、○現物主義、○指導を仕切ることが大事、○重層的な指導を（何もかもはやらない）、○「足し算思考」の発展

### ☆教室環境を大事に

雑巾、ごみ、押しピンはがれなどにも気を付ける。日常の指導が生きてくる。ものを整えることは、心を整えること。

### ☆保護者を味方に

家庭は母性原理、学校は父性原理、行き違いは必ずある。



「教員は、指導力を磨く努力を怠らないでいたい。充実の2学期を。」と締めくくられて、あっという間に講座が終わってしまった。経験に裏打ちされた重みのある、それでいて分かりやすいお話に、だれもが真剣に聞き耳を立てていた。

### 「青は藍より出たものの・・・」

石井東小学校 内海 健一 教諭

ちょうど30年前、中学3年生のときに私は石丸先生と出会いました。当時、新聞紙上をにぎわす俗に言う「荒れた学校」で、石丸先生は隣の学級の担任、私の学級の国語の担当をされていました。石丸先生の学級だった友達が、「石丸先生が担任で、本当によかった。」とよく言っていました。私も、国語を教えていただいたり、行事などをご指導いただいたりするなかで、その言葉を妙に納得していました。誤解がないように述べておきますが、私の学担もすばらしい先生で、代わってほしいと思ったことはありません。

久しぶりにお姿を見て、何だか背中が小さくなったような印象を受けました。私の席が遠かったからなのか、私が当時より大きくなったからなのか…。しかし、話を始めた先生は、ぎょっとするくらい大きく感じられました。首を少し横に傾けた立ち姿も、話し方も、私に当時を思い出させてくれるには十分でした。今回石丸先生の話を知ることができ、当時どのような想いで教壇に立っておられたのかがよく分かりました。そして、石丸先生の学級だったら、今の自分はどんな教師になっていたろうかと、想像していました。

まだまだ青二才の私ですが、石丸先生のことを、恩師と呼ばせていただいてもよろしいでしょうか。

## 第3回 教育講座② (道徳教育)

元松山市教育会会長の村上伸二先生を講師にお招きしての「道徳教育」の教育講座は、毎回大好評で、3年連続の開催になりました。

8月11日(水)、村上先生のお話なら何回でもお聞きしたいというリピーターの先生方も多く、約60名の現職会員が文教会館の4階寿の間に集い、熱心に教育講座②を受講しました。当日は中予管内の小学校教育課程説明会が開催されており、希望していたのに残念ながら参加できなくなった先生方も多かったようでした。

### 村上伸二先生の紹介

松山市教育会の元会長であり、湯築小学校の元校長である村上伸二先生は、現職時代には、愛媛県小中学校長会長、愛媛県集団学習研究協議会長なども務められ、多方面にわたってご活躍されてきました。

現在もNPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構理事長などとして、ご活躍されています。



### 「道徳の時間の指導の在り方—ビデオ視聴とワークショップ—」

この教育講座の講師にと3年連続で声がかかるのは、当初の約束とは違うのですが、今回は最後という気持ちで受けることにしました。また、担当者から、今回は「道徳の時間」の指導の在り方について具体的な実践事例も交えて話してほしい、という要望に応じてお話することになりました。2～30代の若い先生方を想定して用意してきましたので、ベテランといわれる先生方が多い今日の講座は退屈するかもしれませんが、再確認するつもりで受講してください。

このような前置きで、本教育講座は始まりました。

#### 1 道徳の時間の特質

道徳の時間の特質は、何といたっても「道徳的価値の自覚を図ること」である。つまり、道徳の時間は「道徳的実践力を培う場」であり「価値の自覚を図る場」でなくてはならない。そして、「自覚」は自己発見でもある。また、道徳の時間は「補充・深化、統合を図る場」である。

次に、道徳的実践力と道徳的実践の違いをしっかりと認識しておかなければならない。

さらに、「道徳的価値の自覚」とは、「道徳的価値を主体的に身に付ける」ことであり、その自覚を図る上で大切なことは、① 道徳的価値についての理解を深める。② 自分とのかかわりで道徳的価値がとらえられる。③ 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われる。などである。また、子どもが「内在的良心」と「外からの働きかけ」に呼応・共振することで、心が成長していくのである。そして、指導の要として「道徳の時間」がある。

## 2 道徳の時間の指導過程

指導過程の原理は、「自覚化を図る過程」であり、「内面化の過程」といってもよい。したがって、授業の展開の、「道徳的価値の把握」や「道徳的価値の自覚」の段階が特に大切である。

※ ここで、指導の実例として、小学校2年生対象の「助けたいと思うのはなぜ?」という主題(中心資料「ぐみの木とことり」)で「親切、思いやりの心」をねらいとした、NHK「わくわく授業」のビデオを45分間、視聴する。

「道徳的価値の把握」を図る「問い」(中心発問)のポイントは、① 主人公の願いとか意図の推察 ② 主人公の行為が道徳的であった根拠の考察 ③ 主人公の生き方のよさを捉える。などである。

「道徳的価値の自覚」を図る「問い」のポイントは、① 自分の生活を振り返ることから。② 主人公に啓発されたことから。③ 将来の展望が開かれたことから。④ 授業の中で納得したこと、気付いたことから。などである。

## 3 ワークショップ

「役割演技」の様々な手法の紹介の後、受講者4～5名でグループ編成し、再現法や初発法以外の役割演技の手法の一つを選んで、資料「私もいじめた一人なのに」を事例にしてワークショップを行った。

その中の一つのグループに発表してもらい、その成果を全員で確認し合った。



役割演技のワークショップを発表しているグループ

まとめとしては、役割演技を深める教師の役割として、① 教師も参加すること。② 場の雰囲気づくりをすること、など。また、役割演技の効用としては、① 自己を開くことができる。② 他者との関係を具体的、直接的に感得できる。③ 創造的に生き方を捉えることができる。④ 道徳的な生き方を感得することができる。⑤ 子どもの興味・関心を高めることができる。などを確認した。

### 「身体知で学んだ道徳指導法」

三津浜中学校 清水 麻記 教諭

今日の研修では様々な役割演技の手法を学ぶとともに、参加した先生方と一緒にワークショップ形式で演習するなど、身をもって学ぶことができた。私たちのグループは、「加重法」を取り入れたが、「再現法」以外にも多様な手法があることに驚いた。また、指導後の子どもの変容に関して「自分の良質の部分の自己理解が特に大切であること」に気付かされ、とても新鮮であった。さらに、道徳の時間だけではなく、全教育活動の中で道徳教育を行うことに対して、教員として、一人の人間として日々向き合っていくことが、道徳的実践力を培っていくためには必要だと感じた。道徳の時間の授業実践の経験もなく、応用できる理論も知らない初任者である私にとっては、これまで道徳教育の実践を積み重ねてきた大先輩である村上先生から、「これはいいよ。これは使えるよ。」という温かい励ましをいただいた研修であった。

## ブロック編成

区名	学 校 名	区名	学 校 名
1区	番町小、味酒小、八坂小、東雲小、清水小、姫山小、 <b>勝山中、東中</b>	5区	堀江小、潮見小、久枝小、和気小、みどり小、 <b>鴨川中、内宮中、北中</b>
2区	新玉小、雄郡小、素鷲小、桑原小、たちばな小、双葉小、 <b>拓南中、雄新中、桑原中、城西中</b>	6区	湯山小、日浦小、道後小、湯築小、伊台小、五明小、 <b>道後中、湯山中、日浦中、旭中</b>
3区	味生小、生石小、垣生小、余土小、味生第二小、さくら小、 <b>津田中、垣生中、余土中、西中</b>	7区	浮穴小、石井小、荏原小、坂本小、椿小、石井東小、石井北小、 <b>久谷中、南中、南第二中、椿中</b>
4区	三津浜小、宮前小、高浜小、興居島小、怒和小、津和地小、中島小、 <b>三津浜中、高浜中、興居島中、中島中</b>	8区	久米小、小野小、北久米小、福音小、窪田小、 <b>久米中、小野中</b>
		9区	浅海小、難波小、立岩小、正岡小、北条小、河野小、粟井小、 <b>北条北中、北条南中</b>

### ブロック紹介

一歩を踏み出してみませんか

第7ブロック理事（石井支部長） 宇都宮 正男

8月27日（金）に松山市教育会第7ブロックの研修会を石井公民館で開催いたしました。現職の先生方とOB会員が40名も参加してくださり、盛会となりました。

前半は、久米公民館運営審議会委員長の仙波英徳氏から、久米地区での「里山づくり」「わくわくチャレンジサタデー」「安全マップづくり」「通学合宿」などの活動を説明していただきました。一つ一つの実践の素晴らしさはもちろんですが、地域住民一人一人が子どもたちのために、今自分ができることに真剣に取り組んでおられる姿に、感銘を受けました。久米地区では近年、刑法犯件数や不良行為、万引き等が激減しているそうですが、それは、地域の人々の思いが種々の活動を通じて子どもたちの心に伝わり、健やかな成長への努力を促すことになったからだと感じました。

後半は、三つの班に分かれて各支部の現状と課題等について協議しました。その一部を紹介いたします。○教育会は何をすべきなのか、何ができるのか、その存在意義も含めて今一度真剣に考えてみる必要があるのではないかと。○教育会に自主的に入ってもらうためには、何か会員を引きつけるやりがいのある活動を見つけていくことも必要ではないかと。○教育会を活性化するためには、会員一人一人の意識改革が必要ではないかと。○現職の先生方とOB会員とが協働して活動する機会を設けることが重要ではないかと。その他、○見守り隊や蛍の飼育、郷土読本の作成などで協力している。○安全マップづくりに取り組みたい。○OB会員に生徒の学習支援をお願いしたい等々。

今回の研修会を通じて、多くの会員が教育会の活動を活性化したいと思っておられることがよく分かりました。最後に大塚安彦校長先生（南中）の「変わるために一歩を踏み出しましょう。」という閉会のご挨拶をみんなで確認し合い、散会した次第です。

### 囲碁大会

開催期日

平成22年7月25日（日）

開催場所

エスポワール文教会館

参加人員

17名（現職0名、OB17名）

成 績

	優 勝	準優勝	第3位
上 級	北岡 杉雄	高須賀嘉夫	真部 明雄
中 級	橋 正年	馬嶋 治男	池田 辰夫
初級A	山田 眞昭	小池東三郎	門屋 睦夫
初級B	平松 則重	高木 毅	井上 徹